

経済・経営学会研究会のお知らせ

日時：12月7日（木）14時-17時
場所：10号館3階 第二大会議室

「経営者報酬の開示と企業価値」

講師 壺内慎二氏
(経済学部教授)



本研究は2018年に改正されたコーポレート・ガバナンスコード（以下CG）改正に伴う役員報酬の構成及び決定プロセスの開示が、経営者の規律付けに有効であるかを実証することを目的とする。日本企業の役員報酬は業績連動給の割合が低いため企業価値向上につながりにくいことが指摘されている。CG改正後、この状況が改善されたのかを財務データを用いて明らかにする。

「特許に関するデータ実証研究」

講師 蟹雅代氏
(経済学部教授)



特許権の取得・維持に関する料金体系は、特許権の質や量をコントロールし得る重要な政策ツールであると考えられています。本報告では、2011年8月1日に日本で実施された特許審査請求料の引き下げを分析対象として、料金改定が特許の質にどのような影響を与えるかを実証的に検証した研究を取り上げます。併せて、特許データを利用した研究についても紹介します。